

同い年夫婦と愛犬のカフェレストラン

Builder：菱田工務店 Place：軽井沢町 Family：夫婦

新しい人生を歩み出すなら、そのタイミングは自分たちで決めたい。1つのことをやりきったと思えたときに。新しいことを始めたいと思ったときに。セカンドライフとは、老後に用意された時間じゃなくて、次の自分を生きるための前向きな選択なのだから。



55歳になったら会社員をやめる。

55歳で自分の店をもつ

浅間南麓を菱野温泉から東に、千ヶ滝へ向けて抜ける道は、1000m林道と呼ばれています。木漏れ日のきらめく雑木林が続き、ふと視界が開けると、眼前に広がる浅間山の勇姿に息を呑み、森の中へ戻れば、またやわらかな緑の風と光に包まれます。

夏の涼を求めて、あるいは佐久平ののびやかな眺めを楽しもうと、ドライブやサイクリング、散歩を楽しむ人が往来するその道沿いに、この夏ちいさなレストランがオープンしました。

なるべく伐らずに残した敷地の木々が、1階のレストランに設えた大スパンの窓ガラスに映って建物の奥へと溶けていくようで、スギ板張りにした2階は、まるでツリーハウスのようにも、森に浮かぶ舟のようにも見えてきます。

その店舗兼住宅は、M夫妻とお店の名前にもなった愛犬アッシュにとって、セカンドライフを生きる場所です。奥様は55歳を機に会社員を引退することを以前から決めていました。そのタイミングに合わせて同い年のご主人は、料理人として自分の店をもつことにしました。そして、胸に抱えた思いを叶え、新しい航海に乗り出そうと決めた土地が、軽井沢でした。



A

B

C

D

A_「愛犬と一緒に食事の時間を楽しんでほしいから」、レストランには大型犬も含め犬を連れて入店できる。店の前には芝生を張って犬が楽しめるようにした。 B_Restaurant & Cafe Ashは、幾つものレストランで腕を磨いたご主人が「僕が作りたい料理」を出そうと2025年の夏にオープンした。 C_店名にもなった愛犬アッシュは、軽井沢で暮らすようになって元気が増しているとか。 D_あたりは広葉樹の森が広がる標高1000m地帯。ウグイス、ホトトギス、キジ、オナガ、ヒヨドリ、キツツキなどいろいろな鳥が歌いに来る。



E
F

G | H
I
J

E_ 菱田工務店のモデルハウスをお手本にしてつくったレストラン店内。大開口の窓と、室内から屋外へ突き出した梁が、内外のつながりを生んでいる。 F_ 床は土間風、壁はシリカライムの塗り壁。梁やテーブル、椅子の木の質感とやわらかに調和している。 G_ エスプレッソとレモンが融合したカフェリモーネ。 H・I_ 席数はテーブル席が16席とカウンター。テーブルは、ご主人のデザインをもとに地元軽井沢の家具職人と一緒に作りあげた。 J_ 内外を貫く太い梁とレンガの壁は、広がりを生むだけでなく、外観の美しいアクセントにもなっている。

菱田工務店の職人氣質に惹かれて
モデルハウスをお手本にした店内

子どもの頃から幾度か訪れていたので土地勘もあり、実際に東京から移住している知人もいることを思えば、軽井沢に越して店をもつことは現実的な選択だったとご主人は話します。2年かけて土地を探し当てた折しも、友人に紹介されて出会ったのが菱田工務店でした。

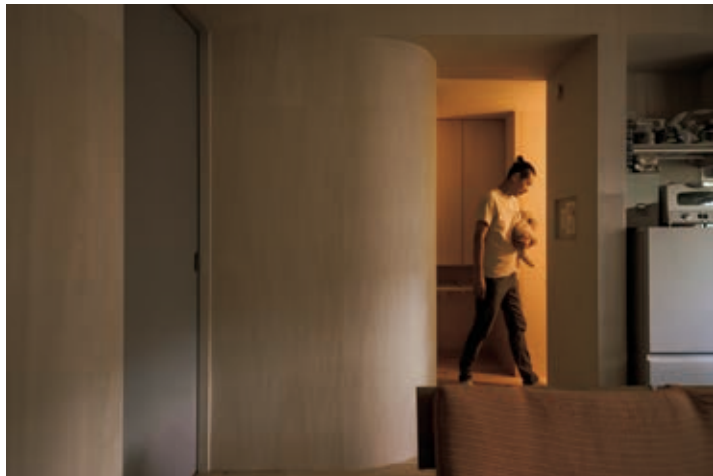
ホームページを見て、日本の大工の技とベルギーの古民家スタイルをかけ合わせた独自の世界観で家づくりに取り組んでいることを知り親しみを覚えました。奥様は仕事でベルギーを何度か訪れたことがあり、ご主人は大好きなベルギービールを扱う店で働いていた経験があったからです。でも何より同社が二人を惹きつけたのは、社長の菱田昌平氏の職人氣質でした。「料理も家もものづくり。ものづくりに真っすぐな人のいる会社だから任せられる、そう思いました」

そんなづくり手への信頼は、店内の梁や天井、壁、土間、屋内外のつながりに、同社モデルハウスの1階の造りを取り入れたことにも表れていました。





K	N
L	O
M	



「来ていただいた人が心地いいと思える場所にしたい」

二人にとっては「東京が便利なだけで、ここが不便なわけではない」そうです。引越してきたばかりの頃は標高が高いせいか頭痛がしたり、朝の森の鳥たちの鳴き声やキツツキのドラミングに起こされたり、新しい環境に驚くこともあったそうですが、その中でも、奥様はここで土や植物に親しむ楽しさをおぼえ、ご主人は調理で火を入れても風味や食感が落ちない地物野菜の強さを知り、アッシュ君はより元気になったそうです。

Restaurant & Cafe Ashの存在とそこで振る舞う料理を「いろんな人に会えるチャンス」だにご主人は捉えています。「バズる必要はない。来ていただいた人に心地いいと思ってもらえる場所にしたい」。ものづくりへの思いで料理人と大工アーティストがつながったように、これから彼のつくる料理が、1000m林道の抜けるこの森に、人のつながりをつくっていくのでしょう。

K_ご主人の個室。右の壁には趣味のプラモデルの箱がびっしり。サードライフの楽しみのために、組み立てないまま保管している。 L_「すみかは誰に見せるわけでもないから」とコンパクトかつシンプルにした。シナベニアの壁、スギの床が、目にも肌触りも優しい。床は愛犬が走っても滑らない。 M_階段を上がってリビングの入り口にあたる壁にはカーブをつけた。四角四面の空間よりあたたかみが出る。 N_奥様の個室。長らく企業広報に携わってきた。これからRestaurant & Cafe Ashを通じて、新しく広がる世界を楽しんでいきたい。 O_1階の大きなガラスが木々を映し、スギ板張りの外壁が周りの緑に馴染む。ワンポイントのアクセントを効かせた赤いドアが、レストランへとお客様を誘うよう。

OWNER Mさん

POINT 1 信州に暮らしてよかったこと

菱田工務店やお店のテーブルをつくってくれた家具屋さんなど、ものづくりで人とのつながりができたこと。

POINT 2 家づくりでよかったこと

自分たちのアイデアを菱田工務店のスタッフが理解し、プロらしい提案を加えて実現してくれたこと。

POINT 3 先輩としてのアドバイス

移住する理由やタイミングはそれぞれ。自分がやりたいことを大切に、セカンドライフを楽しんでほしいです。

菱田工務店
埴科郡坂城町中之条 1683-17
0268-82-8876
<https://hishidak.com>